

### 第3 障害者スポーツ文化センターラポール運営事業

障害者スポーツ文化センター横浜ラポール・ラポール上大岡は「リハビリテーションサービスの向上」「豊かな人生への支援」「共生社会実現への取組」を基軸としながら、障害者の多様化するニーズに即した事業を実施します。

事業の実施にあたっては、これまでに蓄積したノウハウを最大限に活かしたプログラムの展開、地域資源との連携を強化した取組、障害者のスポーツ・文化活動に関する積極的な情報の発信に努めます。

横浜ラポール・ラポール上大岡における今年度の重点項目は、次の3項目です。

- 大規模改修工事で令和6年10月から閉鎖していたプールとシアターが、令和8年4月に再開されるため積極的に周知します。プールの新たなプログラムやシアターでのこけら落とし公演等の事業の企画と合わせて、利用を休止していた障害児者・団体の利用再開を促進します。運動機会、文化活動の鑑賞・発表機会を提供することで多様なニーズに対応し、利用者増を目指します。【拡充】
- 障害者スポーツ推進に係るスポーツ庁の指針に対応し、地域における障害者スポーツの中核機能を高めることを目的に、横浜ラポールに競技団体の育成支援や選手強化、大会開催などを担当する「競技振興課」を新設します。これにより「スポーツ施設運営」「リハスポーツ/健康増進」「地域支援」「競技振興」の4つの柱を中心に据え、横浜ラポールとラポール上大岡が一体となって障害者スポーツのさらなる推進に取り組みます。【拡充】
- 様々な障害のある方が安心・安全に利用でき、「来てよかった」「また来たい」と思っただけのようなホスピタリティあふれる施設運営を行うため、引き続き、障害理解研修を行い、障害に応じた柔軟なサービス提供に努めます。また、災害対策の充実・衛生管理の徹底を図り、より利用者が安心できる施設環境の向上をめざします。【継続】

#### 1 スポーツ振興

- 障害のある方が気軽に運動・スポーツに触れ、楽しむことができる環境づくりを目的に、現場のニーズに対応したリハセンター研究開発課との連携体制を強化するなど、支援機器・サービスの開発から提供まで一体的におこなう取組を進めます。また、この取組を職員の人材育成及び組織の一体感を高める仕組みとして活用します。【拡充】
- 各種競技団体と連携して、障害の種類・程度、ニーズに応じて参加することができるハマピック等の大会やスポーツ教室・体験会を開催します。また、プール施設の利用再開に合わせて、同施設を使用した教室・イベントのバリエーションを増やし、参加しやすいプログラムの充実を図ります。【拡充】
- 身近な場所で体を動かすことを楽しめるよう障害福祉事業所及び特別支援学校等への出張支援を継続します。また、幼少期から成人期まで切れ目なくスポーツを楽しむことができる環境づくりの支援にも取り組みます。【拡充】

## **2 文化振興**

- 障害福祉事業所等への聞き取りや利用者へのアンケート・満足度調査を通じ、ニーズ調査をした上で、利用者自らに合った文化・芸術活動の選択の幅を広げられるようなプログラムを企画・展開します。【拡充】
- 障害者の文化活動における情報収集の強化、及び相談体制の整備を行い、利用者ニーズに合った情報の提供・発信に努めます。また、障害者の文化・芸術活動を支える人材が連携・協力できるよう、市内外の文化団体及び障害者団体と協力して情報を集約します。【継続】
- ラポール内に限らず、市内の商業・公的施設と協同して、表現活動を含めた作品発表の機会を定期的に設けます。また、シアターの再開にあたり、文化・芸術作品等の発表の機会をより確保し、障害者の自己実現に向けた支援を行うとともに、障害の理解促進・啓発に取り組みます。【継続】

## **3 聴覚障害者情報提供施設**

- 派遣・相談事業を始めとした情報提供施設事業の利用促進に向け、ホームページやSNSを活用し、周知に努めます。また、令和7年6月の手話施策推進法施行を受け、パンフレットや動画を作成し、手話に関する市民の理解と関心の増進に取り組みます。【新規】
- 聞こえの相談について、引き続き言語聴覚士を中心に、体制の充実を図ります。外部からの出前講座の依頼に積極的に対応する他、相談利用者対象のサロンについても回数を増やし、聞こえを助ける機器の紹介等、新たな内容を組み入れて開催します。【拡充】
- 手話通訳者・要約筆記者の研修について、引き続き内容に応じてオンライン形式で実施する等、効果的なスキルアップに努めます。医療・介護場面等、ニーズの多い内容に関わる研修を継続実施する他、J-Talkのアプリを使用した遠隔通訳の研修をおこない、対応できる通訳者の増加を図ります。【拡充】

## **4 ラポール上大岡**

- スポーツ・文化活動に触れる機会がない、または少ない障害児・者に対し、リハセンターや療育センター等と連携し、活動に関する情報提供や参加促進を図ります。あわせて、障害児・者が身近な地域で継続的にスポーツ・文化活動に取り組める拠点づくりを、関係団体と共に進めます。【拡充】
- 様々な障害の状況に応じて、利用者のアクセシビリティ向上に向けた取組を進め、通いやすく利用しやすい環境を整備します。あわせて、障害者のスポーツ・文化活動に関する情報を集約し、リニューアルしたホームページを活用して効果的に情報を発信します。【継続】
- ハマピックへの参加につながる体験から技術習得までの段階的なプログラムを、横浜市域のスポーツ施設を活用して展開します。また、横浜市パラスポーツ指導者協議会との連携を深め、南西部エリアにおけるパラスポーツの推進を図ります。【継続】